

法人（事業所）理念		～子ども達の「今」と「これから」のために～ 専門性の高い支援（療育・言語訓練）で子ども達の力と自信を育てます。					
支援方針		子ども一人ひとりの持てる力や思いを受け止め、次の成長へと導きます。嬉しい、楽しい、豊かな経験を通してすすすく、のびのびと力を育みます。					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・来所時、保護者から体調や様子を聞き取り、検温・消毒を実施し感染防止に努めています。 ・体調管理や子どもの様子を気を配り、安全に過ごせるよう配慮します。 ・必要に応じて視覚支援・環境調整等を行い、活動や課題に楽しく安心して過ごせるようにしています。					
	運動・感覚	・個別訓練では正しい構音の獲得のために口腔機能の運動、鉛筆の持ち方改善のための手指の運動、正しい座位の獲得、保持等ができるよう支援します。 ・眼鏡や補聴器、人工内耳等、必要に応じて補助機器の活用を援助し、良い感覚刺激に触れる機会を確保します。 ・療育活動では製作などを通して手指の巧緻性の向上を図っています。					
	認知・行動	・視覚支援によるスケジュールリング等、個々に合わせた環境調整を行うことで、活動の流れの理解や終わりの見通しを立てられるようになり、切り替える力を養いながら安心して活動に参加できるように支援します。 ・先生の話を聞くことが習慣化するよう、見る力、聞く力を養い意識づけます。 ・個別言語訓練では注意力や視覚記憶、構成力などを高めるため、パズル、間違い探し、迷路など視覚認知課題を行います。 ・個々のこだわりについて把握し、やりとりのきっかけになるよう尊重します。こだわりが強すぎて日常生活に支障を来す場合は興味を広げ選択の幅が広がるように支援します。					
	言語 コミュニケーション	・言語聴覚士による言語訓練を行い、言葉の基礎となる概念形成から語彙力の向上や形成的な言語力の向上、対人スキル、構音（発音）に関する訓練などを行っています。 ・集団活動や個別訓練の中で、やりたいこと困っていることなどを上手に伝えられる方法を獲得し、要求やヘルプ表現を自発的に出せるよう支援します。					
	人間関係 社会性	・子ども一人ひとりと信頼関係を築き、コミュニケーションを取りやすい環境を整えます。 ・個別言語訓練ではソーシャルスキルトレーニングを取り入れ、社会生活のルールを身につけられるよう支援します。また、保育士と連携をとり、療育スペースで学んだことを応用しながら友達と楽しく過ごせるよう支援します。					
家族支援		・月1回の時間を設け、日常生活での困り事や心配事、言語やコミュニケーションに関する具体的なアドバイスを行います。 ・ニーズに合わせた情報提供をその都度行います。			移行支援	サービス担当者会議に出席し、保護者や他事業所や園、学校等の機関と情報共有や連携を図ります。特に過ごし方のリズムが変わりやすい園・学校の行事期間では体力面、情緒面に配慮し丁寧に対応します。 ・進学の際、スムーズに移行できるよう就園、就学先や保護者に情報提供と支援を行います。	
地域支援・地域連携		・関係する機関との連携を図り、必要に応じて情報共有を行います。具体的な対応の共有や提案を行い、全体を通して子どもに良い支援ができるよう努めています。 ・自立支援協議会（そだつ部会）等への参加し、地域支援の状況や最新情報把握をし、支援の幅が広がるよう努めています。			職員の質の向上	・外部研修、内部研修を通してそれぞれの専門性を活かした支援が行えるよう常に知識や情報の引き出しを広げます。 ・法廷研修を実施します ・事業所内会議を行い保育士、言語聴覚士等、専門分野を療育に活かせるよう情報共有します。	
主な行事等		・季節の行事（正月遊び、豆まき、ひな祭り、ハロウィン、クリスマスなど）・誕生会・四季の散策					